

バンコクゴルフ旅行(2018年3月)

3月中旬9年振りにバンコクを訪れた。今回はゴルフがメインで、バンコク近郊コースで至福の4時間を過ごした。以下はその感想だ。(注;タイバーツ(B)=3.4円)

1、 15日(木)

羽田発9:55のJAL便でバンコクに16時に到着。入国審査に30分超かかりバッグをとってタクシー乗り場に出たのは17時過ぎだった。空港内の銀行ATMで1万B出金した。バンコク空港は改装され立派になっていて入国審査も極めてスマートでスムーズだった。

空港から市内までタクシーで90分。高速道路料金とチップ込みで約400B。道路は市内に着くまでは空いていたが、市内は渋滞していた。因みに帰国時は日曜早朝だったので45分で行けた。

バンコク駐在仲間とマンゴーツリーというタイ料理店で夕食を取った。駐在員もしばしば利用するレストランだそうだ。店内では伝統舞踊も披露されていた。1200B/人だったが非常に美味しい料理とビールが楽しめた。

2、 16日(金) ニカンティ ゴルフ クラブ

このニカンティゴルフクラブはパー3、パー4、パー5がそれぞれ6ホールずつあるユニークなコースだ。2014オープンと新しく、バンコク市内から北西50km、車で70分程度かかる。コース周辺に民家は無く、広大な湿地帯に建設されている。昼飯と夕食(ブッフェスタイル)付きで4000B(約14,000円)だった。尚休日だと5,500Bとのこと。

ロッカーやナビ付きの電気カートやジャクジー付き風呂など設備と施設は最新でデラックスであった。

我々は午後1番12:10に7番ホールからスタートした。18番スルースタートで終了は16:15だった。曇り時々晴れで微風に恵まれた。プレイ後の感想は以下の通り。

- ① ティグラウンドからの眺めは美しいが狭い。グラウンドは全体的に手入れが行き届いている
- ② キャディの教育は非常に行き届いている。助言も適切。



- ③ ラフが大変きついので入ると出すのが難しい。また見つけ出すのも難しい
- ④ フェアウェイが畝っている。ゴルフ練習場のようなフラットは殆どない。
- ⑤ バンカーの高低差がきつく、砂が細やか。高いロブショットでないと出ない。
- ⑥ グリーンは殆ど砲台で高い弾道でないと止まらない。「結果オーライ」はあり得ない。
- ⑦ グリーン上はポテトチップスのように畝っている。

このコースに対応するには高いボールやスピンボールを打てる技術が必要。またバンカーショットでは高く上がるロブショットが不可欠。アプローチショットが正確でないと大たたきになる。しかし距離は概ね長くはない。

コースとしては非常に洗練されていて全く飽きさせない。名古屋の和合、伊豆の川奈、太平洋御殿場、富士カントリーと似たコースだ。相当難易度は高いが、再び挑戦したい誘惑に駆られる。尚今回のスコアは89（48+41）。後半からグリーンの速さと距離感が把握でき、アイアンショットが矯正されたのが良かった。

我々がプレイした日は空いていた。馴れれば好スコアも期待できコスパも良いので今後人気上がることだろう。または是非プレイしたい。

3、 17日(土) タナシティ ゴルフ クラブ

朝6時半にホテルでピックアップして頂き40分で着いた。市内から東に15kmで空港に近い。1993年開業でグレッグノーマン設計だ。施設内にはプールやテニスコートなども併設された総合リゾート施設だ。クラブハウスは豪華で高級中華料理店があり、接待用ゴルフコースとして有名だ。

我々は7:45スタート。12時には終了した。微風快晴ながら気温35度と日差しが大変きつかった。プレイした感想は以下の通りだ。

- ① ティグラウンドからの眺めは広くて長い。フェアウェイはほぼ平坦。しかしバンカーが多いので狙う範囲は意外に狭い。
- ② 林間コース。林は深く出すのが難しい。
- ③ バンカーがグリーン周りに非常に多い。やっと出しても別のバンカーが口を空けている。今回大たたきしたホールは全てバンカー処理に失敗したホール。バンカーは全て深くて砂が細かい。
- ④ 小川と池がグリーン手前にあるホールが多い。心理的な圧迫感があった。
- ⑤ グリーンは概ね平坦だが速い。



昨日のニカンティGCに比べ難易度は下がるが、スコアは94(50+44)と振るわなかった。バンカーでのミスが要因だ。大反省。コースは全体的に十分整備されており、市内から近いので多くの日本人駐在員愛用のコースだ。この日は土曜でもありほぼ満員だった。

費用はランチとチャーターバス料金込みで5,800B. この値段は休日土日レートだ。

4、 その他の感想

バンコク旅行で気づいた点は以下の通り。

- (ア) キャディはプレイヤー毎に1人ついた。カートは2人乗りでキャディが運転した。20歳代と思いきタイ女性で相応の訓練を受けていた。因みにクアラルンプールでは全てインドネシア人だった。キャディのレベルはややバンコクが上と感じた。チップは300Bだった。
- (イ) タニヤ通りにあるタニヤプラザはゴルフショップのメッカだ。ゴルフショップが数十軒入っている。ゴルフに関連するグッズ(パターカバー、バックとトラベルカバー、ゴルフ衣装、靴下など)が驚きの安さで売られていた。
- (ウ) 高速道路が整備され交通渋滞が相当緩和された。公共交通は地下鉄とモノレールが整備された。タクシーは全てメーター制で大変安い。初乗り35Bで市内全域でも100B(約340円)あれば十分だ。但し運転手は殆ど英語が話せない。現地駐在員は運転手付きのレンタカーを利用している。
- (エ) 現在軍事独裁政権下にある。タクシン政権がクーデターで倒れてから民主的選挙がないが市民生活に全く問題はないようだ。コンビニが非常に多くバンコクでの消費生活は先進国の都市と変わらない。CPグループの経営するセブンイレブンが10,000軒もある。
- (オ) BTMUが買収したアユタヤ銀行は地場5位の大銀行だが、4年前にBTMUバンコク支店と統合した。現在行員約25,000人内日本人70人で、地元経済に根付いている印象を受けた。
- (カ) 日本製造企業(特に自動車生産)で相当の雇用を創出している。また日系レストランは、質も量も東南アジアでNO1だ。
- (キ) タイは東南アジアで最大の所得格差がある。不動産税、資産税、相続税がないとのこと。尚世界格差ではロシア1位、2位インドで3位がタイである。地方と田舎の風景や生活状態などに興味を持った。

2018.3.21 記す